

僕が株式会社エイチームを創業して二十三年がたちました。中卒という学歴でIT企業を立ち上げるのは、その当時でもとても珍しいことだったと思います。起業・独立ということ自体その当時は、

社会的な見られ方も厳しく、周りからの見



れ方も不安を与えることの方が多かった印象がありますが、現在ではベンチャー企業やスタートアップという言い方が浸透して、社会的には注目・応援されやすいものになったと思います。

一九九七年六月、名古屋の大須商店街で買ってきた一台のパソコンと

はやし たかお
林 高生

エイチームの始まり

電話機一台のみで、僕の実家がある岐阜県土岐市でのスタートでした。インターネットが家庭に普及し始めたばかりの頃。現在のようなさまざまなITサービスがあるわけではなく、またそれがすぐにビジネスになるような時代でもなかったため、当初のビジネスはパソコンによる企業向けのシステム開発でした。仕事もスムーズにすすみ、会社勤めするより何で自由でたくさん稼げるのだからと、最初の数カ月は喜んでいました。これがまさか、とんでもない苦労の始まりで、その経験がその後のゲームや引越・結婚式情報などのウェブサイトといったさまざまビジネスにつながっていくのです。

どんな苦労があったのか、そしてどのように乗り越えてきたのか、僕の幼少期の話も含めて連載でお話ししていきたいと思います。

(エイチーム社長)